

国際貢献大学校を開校

校長 「優秀な人材を育成」

アジア医師連絡協議会（AMDA）の「アマタ国際福祉事業団」が運営、哲多町が設置する「公設国際貢献大学校」（校長・菅波茂AMDA代表）が町田田淵に完成し、8日に開校式があつた。同校は国際ボランティアを育成する研修施設で、来年度から本格的に専門家養成に取り組む。



3月末に閉校した町立

大田小学校の校舎を使用。約7500万円かけて、木造平屋建て約1千平方メートルを改装し、食堂や

開校式には石井正弘知事ら約120人が出席。菅波校長は「海外との連携で、21世紀の国際社会の様々な問題を解決する優秀な人材育成に役立ちたい」とあいさつ。この後、竹元武士町長、菅波校長、石井知事の3人で校舎の玄関に「国際貢献大学校」と書いた門札を掲げた。

の訓練などに使う。

同校は、災害発生時に現地へ救援隊を派遣する「国際緊急救援」、半年から3年の研修で世界

また、同校は1学年25人以下の全国の小規模な小、中学校を対象に、修学旅行の一環として、1泊2日の研修を施設使用料と食費を無料で受け入れる。年間先着10校。問い合わせは同校（0867・96・2062）。

に通用する国際貢献の専門家を養成する「大学校専門研修」、学校などに国際理解や環境学習の場を提供する「国際ボランティア養成」の3事業を柱とする。教授は駐日大使や医師ら51人で11月に決定。社会人を対象に研修生を年内に募集す

る。

災害救援訓練へ

体育館など改造